

第30回日本飼育技術学会にて発表した高繊維草食用飼料(製品名：ZHF)の
 給与試験の結果をご紹介します。
 (嗜好性の評価、糞便性状の比較、血液性状の比較)

①嗜好性の評価

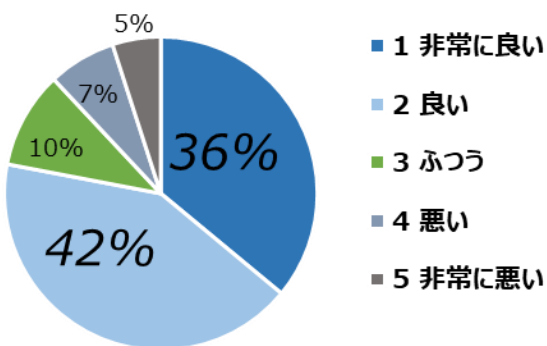
試験1：嗜好性スコアによる評価

方法

8園館において任意の量を対象動物に給与し、初回給与時の嗜好性を評価した。
 評価方法は、5段階によるスコア（1.非常に良い、2.良い、3.ふつう、4.悪い、5.非常に悪い）にて回答を得た。
 対象動物は、キリン、カモシカなどの反芻動物、ゾウ、ウマなどの単胃動物、サル類、レッサーパンダ等であった。

結果

「非常に良い」、「良い」で約8割を占めたことから、嗜好性が良好であることが確認できた。



嗜好性スコアによる評価結果

	動物種
1 非常に良い 2 良い	カモシカ、シカ、ヒツジ、エランド、オカピ、ラマ、ヤギ、キリン、ゴールデンターキン、アジアゾウ、ウマ、ミニチュアホース、バク、サイ、シマウマ、カピバラ、カバ、モウコノロバ、モルモット、オグロプレーリードッグ、チンパンジー、オランウータン、フサオマキザル、ゴリラ、レッサーパンダ、ツキノワグマ
3 ふつう	ウマ、チンパンジー、レッサーパンダ、キリン
4 悪い 5 非常に悪い	アメリカビーバ、ウサギ、キリン、ワオキツネザル、リスザル、フサオマキザル、ジェフロイクモザル、テナガザル、ショウガラゴ、チンパンジー、ブラッザグェノン

動物種毎の評価結果

試験2：キリンにおける二点比較法による嗜好性試験

方法

円山動物園のキリン2個体に対して5日間の試験を行った。試験ペレットは高繊維草食用飼料ZHFペレットおよび当社のZCペレットを用い、ファーストチョイスを確認した。コンテナ内部に餌台を2つ置き、300gずつ高繊維草食用飼料ZHFペレットおよびZCペレットを入れ、1分経過後に餌台の場所を入れ替えた。

結果

キリンAにおいて、5日間ともに入れ替え後も含め高繊維草食用飼料ZHFペレットの方を選択した。
 キリンBにおいて、高繊維草食用飼料ZHFペレットおよびZCペレットでファーストチョイスは同程度であった。
 これらのことから、ZCと同等以上の嗜好性であることが確認できた。

	ファーストチョイス							
	キリンA				キリンB			
	ZHF	ZC	ZC (入替後)	ZHF (入替後)	ZHF	ZC	ZC (入替後)	ZHF (入替後)
1日目	○			○	○		○	
2日目	○			○		○		○
3日目	○			○		○		○
4日目	○			○	○			○
5日目	○			○		○		○
○合計	5	0	0	5	2	3	2	3

ファーストチョイスの結果

○印：ファーストチョイスをした試験ペレット

青枠：試験ペレットの入替前の結果

赤枠：試験ペレットの入替後の結果

②糞便性状の比較

ミニチュアホースにおける糞便性状の変化

方法

円山動物園にて軟便を呈するミニチュアホースに対し、高繊維草食用飼料ZHFペレットを9日間連続で1日150g給与し、糞便を写真撮影した。

結果

高繊維草食用飼料ZHFペレットの給与により軟便傾向の改善が確認できた。



給与1日目



給与9日目

③血液性状の比較

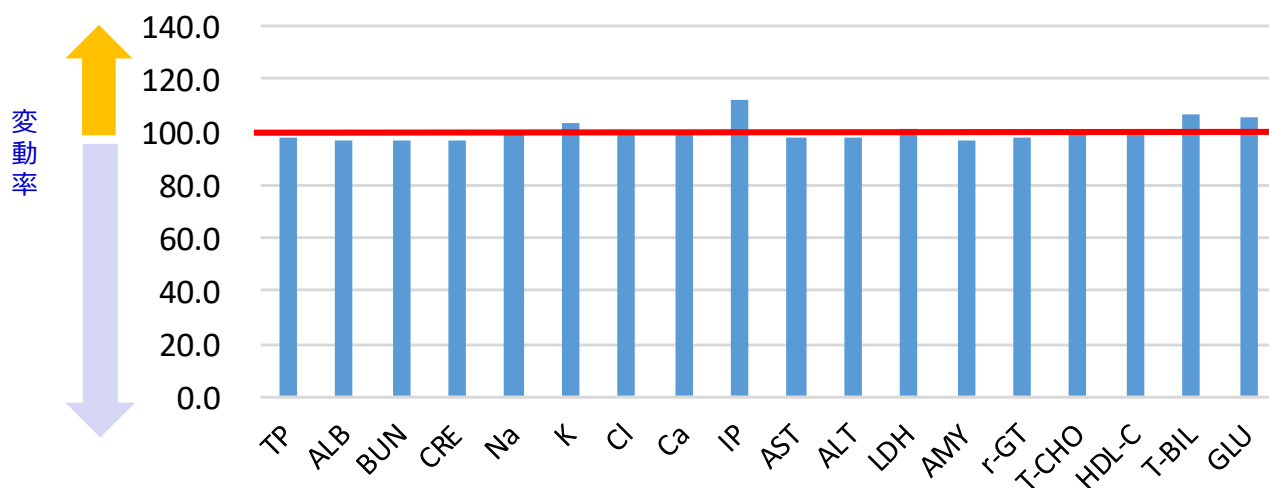
草食動物における生化学項目の測定値の確認

方法

ゾウ2匹（円山動物園）、カンガルー（ひびき動物ワールド）、ロバ、シマウマ、クロサイ（かみね動物園）に対し、高繊維草食用飼料ZHFペレットを1ヶ月間給与した。給与前後で採血を行って、血清中の生化学値（18項目）を測定した。

結果

生化学値に著しい変化が認められなかったことから、高繊維草食用飼料ZHFペレットの給与で健康上、問題がないことが示唆された。



生化学値の測定結果 (n=6)

* 各個体の試験開始時の血液性状の分析値を100%とした場合の試験終了時の変化率を算出し、平均化した。